

## 肺がん検診を受けられる方へ

肺がんは、男性・女性とも日本人のがんが原因で亡くなる場合の上位を占めています。胸部エックス線検査と喫煙者が対象の喀痰細胞診検査を受けることにより、肺がん死亡する確率が減少することが明らかになっています。肺がん検診は、1年に1回継続して受けることが大切です。ただし咳が続いたり、血の混じった痰が出るなど自覚症状がある場合は医療機関を受診してください。

### 【検診の不利益について】

肺がん検診には限界があり、100%肺がんを発見できるわけではありません。がんがあっても「異常なし」と判定されることがあります。(偽陰性)  
また、がんがなくても精密検査が必要と判定される場合もあります。(偽陽性)  
検診には、このように不利益を生じることがあります。

### 【検診後の精密検査について】

胸部エックス線検査の結果が要精密検査だった場合は、CT検査や気管支鏡検査などによる精密検査を必ず受けてください。  
また、喀痰細胞診で要精密検査となった場合は、喀痰細胞診の再検査は行わないでください。

### 【喫煙による影響について】

喫煙は肺がんの最大の原因です。喫煙年数や喫煙本数が多いほど肺がんのリスクは高くなり、禁煙すると徐々にリスクは低下します。また、受動喫煙でもリスクが高まることがわかっています。  
肺がん予防の最も効果的な方法は禁煙です。

### 【個人情報の取扱いについて】

豊中市が行うがん検診では、検診の精度管理のため、精密検査が必要になった方の検査結果や治療の受診状況などを市と検診実施機関と精密検査実施機関で共有します。また、精密検査の受診状況について市からご連絡させていただくことがあります。  
ご理解とご協力をお願いいたします。